

第34期 メンバー募集のご案内

2018年5月29日スタート

# 特許戦略スタッフ会議

— 知財スタッフの相互啓発・異業種交流・人的ネットワーク形成の場 —

## ■ 開催にあたって ■

特許戦略スタッフ会議は、知財スタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1985年に創設され、今日まで参加メンバーによる活発な研究と議論を積み重ねてまいりました。

30年に及ぶ活動が実証するように本会議は、メンバーシップを基本として互いに学び合い、知財マネジメントのあるべき姿を探求する場でございます。

異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには課題究明の絶好の機会として、皆様の本会議へのご参加をご期待申し上げる次第です。

※入会ご検討中の方は第1回例会に限り体験参加頂けます（要事前予約）

## 第1回例会（ゲスト講演・オリエンテーション・懇親会）

ゲスト講演 『データ時代におけるIBMの知的財産戦略  
～進化・変化するIPの価値とその対応～』

日本アイ・ビー・エム(株)

知的財産 第1知的財産担当部長 太佐 種一 氏

日 時 2018年5月29日(火) 13:30～18:30

会 場 「アイビーホール」(東京・表参道)



## 第2回例会

ゲスト講演 『旭化成の知的財産活動  
～事業に貢献する知財情報の積極的活用～』

旭化成(株) 研究・開発本部 知的財産部長 坂元 孝至 氏

日 時 2018年6月26日(火) 13:30～17:00

会 場 「アイビーホール」(東京・表参道)



## 第3回例会（合宿研究会）

テーマ 『メンバー各社の知財マネジメントの現状と課題』

\*各自で作成する「メンバー交流シート」に基づいた事例と知見の交流

日 時 2018年7月6日(金)～7日(土)

会 場 静岡県伊豆の国市方面での合宿研修を予定

## 第4回例会

ゲスト講演 『事業戦略と知財戦略  
～IP ランドスケープの活用～』

デロイトトーマツ フィナンシャルアドバイザー

知的財産グループ シニアヴァイスプレジデント 小林 誠 氏

日 時 2018年8月28日(火) 13:30～17:00

会 場 「アイビーホール」(東京・表参道)



## 参加対象

- 一知財マネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交流を希望される方々
- 一事業会社で知的財産、R&D部門を中心に知財マネジメントに携わる方々

\*コンサルティング、特許事務所関係の方々のご参加はご遠慮いただいております。

## 開催要領

- ▶ **期 間** 2018年5月～2019年3月（全11会合）
- ▶ **日 時** 原則として、「年間プログラム」の開催日程に沿って開催＜13:30～17:00＞
- ▶ **会 場** 東京都内会議室  
\*運営上の都合により、日時を変更する場合がございます。  
\*例会の詳細は、事前にEメールにてご案内いたします。  
\*合宿研究会や見学会、現地交流会などは、詳細が決定次第、ご案内いたします。

- ▶ **運営体制** 本会議の企画・運営にご参画いただきます（順不同・敬称略）

### 運営幹事

井上 博之氏 ナブテスコ(株) 技術本部 知的財産部 参事  
岩崎 淳氏 (株)小糸製作所 知的財産部 知的財産グループ 課長  
臼田 衛氏 YKK(株) 法務・知的財産部 知的財産グループ 知財企画管理リーダー  
斉藤 将康氏 日立化成(株) 知的財産戦略センタ IP開発戦略部 部長代理  
田中 滋氏 (株)カネカ 知的財産部 企画管理グループ 主任  
田辺 千夏氏 昭和電工(株) 知的財産部 知的財産グループ 情報チームリーダー  
利川 基秀氏 パナソニック(株) エコソリューションズ社 知的財産部 ライティング知財課 主幹  
吉川 浩司氏 三井化学(株) 知的財産部 業務サポートグループリーダー

### アドバイザー

大田 恭義氏 ミダスIPパートナーズ 代表（元富士フイルム(株) R&D統括本部メディカルシステム開発センター兼、知的財産本部知財技術部）

## 特許戦略スタッフ会議の特長と方針

### 特

### 長

1. 異業種交流を深めることにより、業種・業態の壁を超えた新しい発想や手法を学ぶことができ、なおかつ社外のネットワークを広げ、**パーソナルバリュー**の向上が図れます。
2. 知財マネジメントの新しい流れや考え方、実践方法について、外部ゲストやメンバーによる事例研究で**最新の情報を収集**できます。
3. 情報交換だけでなく、その背景にある実務に直結した**ノウハウの交換**が行えます。また、必要に応じて**メンバーの相互訪問**も行えます。

### 基

### 本

### 方

### 針

\*会合の参加に際してのお願い

1. 会議の目的達成のため、可能な限りギブアンドテイクをモットーに参画する。
2. 本音ベースの議論を深めるため、互いの守秘義務を遵守する。
3. 企業規模、役職、経験に関係なく積極的に参加する。

### 異業種研究交流の価値

本会議は、知財マネジメントに関する異業種研究交流の場です。異業種研究交流には、次の2つのメリットがあります。

1. 物事を客観的に見られるようになる
2. 付き合いの幅が広く大きくなっていく

これら2つのメリットを踏まえながら、メンバー間の交流を通じて是非“**感性のアンテナ**”を磨いて下さい。

## 研究テーマ《個別テーマ（例示）》

\*下記の個別テーマは、これまでの分科会活動や全体討議での課題意識や討議内容をベースにしています。

### 1. 知財を通じた「事業」への貢献

- ◆知財部門の貢献とは
  - －貢献の見える化、貢献のための連携、成功事例と失敗事例
- ◆事業の強化・拡大のための活動
  - －権利活用成功事例と失敗事例、活用での技術資産の整理法
- ◆海外拠点、海外子会社の知財管理のあり方
  - －知財ガバナンス、分散帰属型、一元帰属型
- ◆海外代理人の選定方法

### 2. 知財を通じた「R&D」への貢献

- ◆知財に求められる役割と情報の確認
- ◆知財分析による商品&開発戦略提案
- ◆知財ポートフォリオから導く出願戦略&活用戦略
- ◆海外特許網構築と活用
  - －調査・分析、出願戦略、権利化・活用
- ◆ケーススタディ
  - －調査（情報の入手）、分析（提案に結びつける）、提案（分析を情報発信）

### 個別テーマ（例示）

### 3. 組織と人材

- ◆知財人材のあるべき姿とマインド・スキル
  - －マネジャー、実務リーダー、担当者に必要なのは
  - －マインド向上施策
- ◆キャリアプランと教育体系
  - －ローテーション、OJTによる指導・育成方法の検証
  - －知財教育と全社知財マインド向上策
- ◆グローバル展開時の体制・人材
  - －知財体制の整備、機能・役割分担、海外駐在、育成

### 4. IoT、インダストリー4.0、ビジネスエコシステムと知財活動

- ◆インテリジェンス機能の向上のために
  - －必要とされる知財情報の収集・活用と情報発信
  - －AIの台頭による知財活動の変化
- ◆企業競争力を高める技術標準化に必要なこと
  - －弱みを解消し、強みを増すために
- ◆事業領域・事業構造の変化と知財戦略
  - －法的リスクと知財課題
  - －事業連携、俯瞰的・戦略的に活動できる能力の養成

## 前期（第33期）分科会テーマと主な討議項目

下記の3つの関心テーマ別に3つのグループを編成し、複数回にわたり集中的に議論しました。

異業種各社の知財スタッフが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト、具体的対応策を研究討議致しました。

#### ・組織と人材のマネジメント（1グループ10名参加）

- －知財教育に関わる課題抽出と課題解決方策
- －知財レベルスキル表の作成と育成方法
- －実務リーダー（入社6年～マネジャー前）が身につけるべき能力  
育成力／提案力／コミュニケーション力… など

#### ・新商品・新事業開発のための知的財産戦略（1グループ11名参加）

- －事業企画から事業撤退にいたるまでの知財活動
- －アーリーステージでの情報収集と情報活用
- －知財実務で培われた他部署にない知財部員の強み
- －ファシリテータの役割と具体的活動事例、など

#### ・事業を強化する知財マネジメント（1グループ12名参加）

- －特許ポートフォリオ構築の目的の再確認
- －テクニカルな後発企業（フォロワー）の戦略は  
クリアランス／出願・権利化…
- －事業部に喜ばれる知財活動事例、など

### 会議の風景



通常例会での風景／ゲスト講演時



分科会活動時／テーマについて集中議論

## 前期（33期）活動経過

### ▶ 《研究テーマ／講演・討議内容》

ご所属・お役職はご講演当時。

1	■スリーエムの知的財産戦略	スリーエム ジャパン(株) 知的財産部長 赤澤 太郎 氏
2	■ホンダにおける知的財産活動の取り組み	本田技研工業(株) 知的財産・標準化統括部長 別所 弘和 氏
3	(合宿研究会) ■グループディスカッション ～メンバー各社における知財マネジメントの課題と対応	
4	■チュートリアル講演 知財で事業に勝つ! ■知財戦略のススメ～コモディティ化する時代に競争優位を築く～	ミダスIPパートナーズ 代表 大田 恭義 氏 内田・鮫島法律事務所 弁護士 弁理士 鮫島 正洋 氏
5	■日産化学における知的財産活動 ◆テーマ別分科会討議、第1回目	日産化学工業(株) 専務理事 知的財産部長 角田 卓彌 氏
6	■武田薬品工業におけるグローバル知的財産活動の実際 ◆テーマ別分科会討議、第2回目	武田薬品工業(株) 知的財産IPオペレーション 平井 真以子 氏
7	■求められるグローバル知財マネジメント人材像 ◆テーマ別分科会討議、第3回目	大阪工業大学 知的財産学部 教授 西井 光治 氏
8	■分科会中間報告会 ◆テーマ別分科会討議、第4回目	
9	■パナソニックIPマネジメントにおける競争力を高める取り組み ◆テーマ別分科会討議、第5回目	パナソニックIPマネジメント(株) 代表取締役社長 足立 和義 氏
10	(合宿研究会) ■(見学会) ミツカンミュージアムの見学 ■(講演) デザインと特許のハイブリッド戦略 ◆テーマ別分科会討議、第6回目	オンダ国際特許事務所 代表 恩田 誠 氏
11	(分科会活動報告会) 3つのグループから議論・研究討議の成果を報告、その成果を全体で共有。	

## 第33期参加企業一覧

ダイセル	知的財産センター 知的財産戦略グループ 主席部員	KYB	知的財産部第一知的財産室
京セラ	法務知的財産本部 知的財産部 知財1部 副責任者	カネカ	知的財産部企画管理グループ 主任
サントリー ホールディングス	MONOZUKURI本部 知的財産部	日立化成	知的財産戦略センタ
ナブテスコ	技術本部 知的財産部 参事	日東電工	知的財産本部事業知財推進部 係長
ライオン	知的財産部 副主席部員	旭硝子	知的財産部 知財第3チーム マネージャー
小糸製作所	知的財産部知的財産グループ 課長	パナソニック	エコソリューションズ社 知的財産部 ライティング知財課 主務
グローリー	知的財産部海外グループ グループマネージャー	京セラ	法務知的財産本部知的財産部 知財2部3課 課責任者
栗田工業	知的財産部 研究主幹	荏原製作所	知的財産統括部特許技術・契約審査部
日本製鋼所	技術戦略室 知的財産部	オリンパス	知的財産本部 知的財産企画部 戦略グループ戦略チーム
ブリヂストン	知的財産第1部タイヤ材料出願・権利化ユニットユニットリーダー	キヤノン	光学機器知的財産部 部長
三井化学	知的財産部 事業サポートグループリーダー	村田製作所	知的財産部 マネージャー
YKK	法務・知的財産部知的財産グループ	昭和電工	法務・知的財産部知的財産グループ
東洋インキSC ホールディングス	知的財産部	オムロン	知的財産センタ 知財専門職
日産化学工業	知的財産部	化学及血清療法 研究所	研究推進部知的財産課 主任部員
花王	知的財産部 課長	資生堂	技術知財部 特許2グループ
Mizkan Holdings	中央研究所特許チーム	武田薬品工業	知的財産 IPオペレーション 主席部員



# 年間プログラム

日 程	研究テーマ／講演・討議内容
第1回 5/29(火)	<b>ゲスト講演 『データ時代におけるIBMの知的財産戦略 ～進化・変化するIPの価値とその対応～』</b> 日本アイ・ビー・エム(株) 知的財産 第1知的財産担当部長 <b>太佐 種一</b> 氏
第2回 6/26(火)	<b>ゲスト講演 『旭化成の知的財産活動 ～事業に貢献する知財情報の積極的活用～』</b> 旭化成(株) 研究・開発本部 知的財産部長 <b>坂元 孝至</b> 氏
第3回 7/6-7(金・土)	<b>第1回合宿研究会 『メンバー各社の知財マネジメントの現状と課題』</b> ・「メンバー交流シート」の活用により、参加メンバー間の交流を深める。 ・メンバー各社の置かれている状況、問題意識について意見交流。
第4回 8/28(火)	(10:30～12:30 開催) <b>チュートリアルコース 『知財で事業に勝つ ～知財業務をルーティン業務にしていけない～』</b> ミダスIPパートナーズ 代表 <b>大田 恭義</b> 氏 (当会議アドバイザー) (13:30～15:00 開催) <b>ゲスト講演 『事業戦略と知財戦略 ～IPランドスケープの活用～』</b> デロイトトーマツ フィナンシャルアドバイザー シニアヴァイスプレジデント <b>小林 誠</b> 氏
第5回 9/11(火)	<b>以降のプログラムについて</b> 今期の参加メンバーの皆さまの問題意識に基づき、プログラムを進めてまいります。 <b>通常例会</b> 通常例会は下記の構成で進めてまいります (時間配分は目安です)。
第6回 10/16(火)	<div>13:30.....➡ 15:00 .....➡17:00</div> <div> <b>ゲスト講演・メンバー発表</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的課題の認識</li> <li>・知財マネジメントのケーススタディ</li> <li>・知財マネジメントの課題共有</li> </ul> </div> <div> <b>グループディスカッション・分科会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務家同士の本音の情報交換</li> <li>・参加企業相互の事例交換</li> <li>・他では聞けない現場の知識の共有、など</li> </ul> </div>
第7回 11/13(火)	
第8回 12/4(火)	<b>合宿研究会</b> 異業種各社の知財スタッフが抱える問題や課題について相互に学び合い、知的交流を深めます。 一泊二日にわたる合宿は、人的ネットワーク構築の好機です。 第1回合宿研究会 (7月) メンバー各社の知財マネジメントの現状と課題 第2回合宿研究会 (2月) 事業所見学会、テーマ別分科会による集中討議など <b>分科会活動(8月または9月～3月／全7～8回)</b> 企業経営や知財マネジメントを取り巻く今日的課題を踏まえながらテーマを抽出し、固定メンバーで継続的に議論いたします。 分科会活動では中間進捗報告会や最後の活動報告会を実施して、問題意識と研究討議の成果を全体会議で共有いたします。
第9回 1/8(火)	<b>本会議の活用について</b> 本会議は、各社における知財マネジメントのあるべき姿を探索する場です。それぞれの課題を解決する場として大いに活用ください。
第10回 2月中下旬予定 (合宿研究会)	<div>★ご参加頂くと、こんなときに役立ちます★</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の知財活動の課題や懸案事項についてヒントを得たいとき・・・ →各社の事例から知財活動に関するノウハウや知見が得られます。</li> <li>・知財活動について相談ごとやアドバイスが欲しいとき・・・ →メンバーと交流することで解決の糸口が見つけられます。</li> </ul>
第11回 3/12(火) (分科会活動報告会)	

# 一般社団法人企業研究会 研究交流事業一覧



## 研究交流事業体系図

### 【役員】

21世紀経営者フォーラム

新しい技術経営を考える会

特徴企業経営者フォーラム



## 第34期 特許戦略スタッフ会議 申込要領

▶ **会 費** (1名分、消費税込) **正 会 員 226,800円** **一 般 259,200円**

\*資料代・通信費等含まれます。ただし、合宿研究会他、特別会合は別途実費をご負担頂きます。  
\*分割、次年度のお支払い等も可能です。お気軽にご相談ください。

▶ **申込方法** 必要事項をご記入の上、下記宛てファクスもしくはEメールにてお申し込みください。  
折り返し、第1回例会案内ならびに請求書を送らせていただきます。

◀体験参加について▶第1回例会(5/29)は会の雰囲気などをご覧いただくため、入会をご検討中の方もご参加頂けます(人数制限ございます)。下記申込書の体験参加の欄にチェックいただき必要事項ご記入の上、FAXにてお送りください。

▶ **申 込 先** 一般社団法人企業研究会 担当: 小野原/福田  
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町 M-SQUAREビル2階  
TEL: 03-5215-3515 FAX: 03-5215-0952 E-mail: onohara@bri.or.jp

### 申 込 書

<事業コード:180027>

## 「第34期 特許戦略スタッフ会議」申込書

年 月 日

☐ 会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申し込みます。  
☐ 参加検討中につき、第1回例会の「体験参加」を申し込みます。

**FAX:03-5215-0952**

氏名(ふりがな)	会社名
所属・役職名 正式名称を詳細にご記入ください。	
会社所在地 〒	TEL:
	FAX:
	E-Mail:

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および、当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。